

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|--------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センターもも | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ | 2024年12月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 80 | (回答者数) | 72 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ | 2024年12月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 27 | (回答者数) | 24 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年1月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 施設・環境の充実 ・中央ホール、テラス、屋上の芝生など、広々とした活動スペース ・清潔で心地よい環境維持 | 支援の個別化 ・子ども一人一人の特性とベースに合わせた支援 ・視覚的支援(絵カード、イラストの活用) | 専門スタッフの拡充 ・理学療法士、作業療法士の配置検討 ・職員の専門性向上のための研修実施 |
| 2 | 手厚い支援体制 ・1クラス4名の職員配置 ・こどもの特性に応じた専門的支援 ・個別支援計画の適切な作成と実施 | 安全管理 ・事故防止・緊急時対応マニュアルの整備 ・定期的な避難訓練の実施 ・怪我等の細かな報告 | 保護者支援の強化 ・家族支援プログラムの充実 ・保護者研修会の開催増加 ・保護者同士の交流機会の創出 |
| 3 | コミュニケーション・情報共有 ・丁寧な連絡帳の記載 ・運営規程等の説明の充実 ・個人情報情報の適切な取り扱い | 環境構造化 ・わかりやすい空間設計 ・余分な装飾を控えた環境整備 | |

| | 事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 地域交流の不足 ・他の保育施設との交流機会が限定的 ・地域の子どもの活動機会が少ない | 構造的な要因 ・職員の専門性に関する研修機会の不足 ・保護者交流を促進する場や機会の設定の難しさ | 専門性の向上 ・職員研修の体系化 ・専門職の採用または連携強化 |
| 2 | 保護者間交流の不足 ・保護者会等の交流機会が限定的 ・きょうだい支援の体制が不十分 | 運営上の要因 ・地域連携のための調整時間の確保 ・情報共有システムの未整備 | 保護者支援の充実 ・保護者向け研修プログラムの開発 ・交流機会の計画的な設定 |
| 3 | 情報共有の課題 ・日々の活動内容の詳細な共有が不十分 ・職員間での対応の質にばらつき | | 情報共有の改善 ・活動報告の仕組みの整備 ・職員間の情報共有体制の強化 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| | |
|------|--------------|
| 事業所名 | 児童発達支援センターもも |
|------|--------------|

公表日 2025年2月28日

利用児童数 80

回収数 71

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-------------------|--|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 67 | 4 | 0 | 0 | 中央ホール、テラス、屋上の芝生等、お部屋だけでなく各々が 広々としていてとてもいい。 屋内・屋外でのびのび遊べてありがたいです。 子供達がのびのび活動出来る環境だと思います！ 広いホールに屋上芝生、子供達思いっきり体動かせて楽しいと 思います！ トイレの順番待ちで出ちやいそうになったので 屋上やホールが広く走り回るのに十分なスペースがあると思わ れます。 室内だけではなくテラスなどで色々な活動が出来て、いい経験 になっていると思います。 | 広い活動スペースを引き続き活用しつ つ、トイレの利用環境を改善するための 見直しを行い、子どもたちがより快適に 過ごせるよう努めます。 |
| | 2 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 67 | 3 | 0 | 1 | 1クラスに4人も先生がいて下さり大変助かります。 1人1人に配慮は大変だと思いますが出来る限り見て頂いてると 思います。 手厚く支援していただいて有り難いです！ 配置数は適正かと思いますが専門性はわかりません。 いつも丁寧にしてくださり感謝しています。 子供を良く見てアドバイスを下さいます。 先生の手が生徒数に対して、足りない印象。 | 現行の職員配置を再確認し、必要に応じ て増員や役割分担の見直しを検討しなが ら、より充実した支援が提供できるよう 努めます。 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 67 | 1 | 0 | 3 | 絵カードを使ったりトイレにイラストがあったり、余分な装飾 などもなくとてもいい。 手が届きにくいところもあるかと思いますが配慮はなされてると 思います。 中々普段の様子を見る事が無い為、子どもにとって適切である か、は分かりかねます。 | 生活空間の構造化を維持しつつ、手が届 きにくい場所への改善を検討するととも に、保護者への情報提供を強化して、環 境の適切さをより伝えられるよう努めま す。 |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 69 | 1 | 0 | 1 | 見学行かせて頂きますが綺麗されてると思います。 いつも清潔感があります。 難しい事だというのは十分承知の上ですが、 できればトイレと教室では履き物は変えるようにして欲しいか なと思います。 トイレで寝そべったりしている我が子を見てちょっと衝撃だっ たので、 綺麗じゃないところで寝転ばないということを教えてもらえら ると嬉しいです。 | 清潔な環境の維持を継続するとともに、 トイレと教室での履き物の分離や、衛生 習慣の指導を取り入れる検討を進め、子 どもたちがより快適かつ健康的に過ごせ る環境づくりに努めます。 |
| 適切 な 支 援 | 5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。 | 66 | 4 | 0 | 1 | 無理強いもせずその子その子のペースに合わせてくれており、 ありがたいです。 1人1人の子供達に家族にも分かりやすく支援されている様子が理 解できます。 あまり成長がみられない。 子供の気持ちに寄り添って支援していただいていると思います！ 適性を理解して、行動を視覚化してくれたり助かっています。 理学療法士さんや作業療法士さんがいたら、さらに良いと思 います。 姉妹で通っているが、ひとりひとりの特性に合わせて対応して くれています。 適切な支援は受けられているが、読み聞かせ等で聞こえないくら い声が小さい先生もいる。 | 現行の支援の質を維持しつつ、専門ス タッフの配置の可能性を検討するととも に、職員の発声方法など支援技術の向上 に向けた研修を実施し、子どもの成長を さらにサポートできる環境を整えていき ます。 |
| | 6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。 | 60 | 4 | 0 | 7 | 詳しくは分かりませんが支援プログラムに沿ってやられてると 思います。 | 支援プログラムと実際の支援内容の一致 をより明確にするため、プログラムの具 体的な進捗や内容を保護者に分かりやす く共有し、透明性を高めています。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。 | 67 | 3 | 0 | 1 | その子に合わせてアセスメントが計画されていると思います。 | 引き続き、子どもと保護者のニーズや課 題を丁寧に分析し、個別支援計画の質を 向上させるとともに、計画内容について 保護者への説明や共有をさらに充実させ ていきます。 |
| | 8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 64 | 5 | 0 | 2 | 家族支援に関してはお家でこのようやっってくださいとかその度 に言っていたら お家でも出来るので帰宅時など伝えて頂いたり連絡帳に記載し て頂いたらわかるのでお願いしたいです。 家族支援も手厚くていつも助かっています。 困ったこと相談出来るのは本当に有り難いです。 | 支援計画に「本人支援」「家族支援」 「移行支援」の必要項目を適切に選択し 具体的な支援内容を設定することを徹底 するとともに、家庭で実践可能な支援方 法について帰宅時や連絡帳を活用して積 極的に情報提供を行います。 |

| | | | | | | | | |
|----------|--|--|----|----|----|---|---|--|
| の提供 | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 66 | 4 | 0 | 1 | 充分にしてくださり感謝しています。されたいと思います。行われていると思うが、年に数回の面談の為日々の成長度合いでの支援が出来ているのかは分かりかねます。ももさんに通うことでとても成長しているように思えます。 | 支援計画に基づいた日々の支援内容や子どもの成長状況をより明確に保護者に伝えるため、定期的な報告や情報共有の機会を増やし、保護者が安心して支援を理解できるよう努めます。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 63 | 7 | 0 | 1 | 色々配慮して頂いてこちらも相談出来るのでありがたいと思います。個々の活動をしてきているのが分からない。集団での話はよく聞くが個別支援の話はあまり聞かない。 | 活動プログラムが固定化されないよう工夫を続けるとともに、個別支援の内容や進捗についても具体的に保護者に共有し、透明性を高めて信頼を築いていきます。 |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 28 | 12 | 14 | 17 | 他の定型児との関わりが必要であるとは考えておりません。うちは児童の施設に並行通園しているのでそういういったのはないのででも交流させてあげたいです。平日は親が仕事なので、土日に公園行って気があったお友達と遊べたりするくらいなので、ももの活動の中で他の園の子と交流する機会があったら、子供にといい刺激になるかもしれません。障害の程度が重い場合特別健常者の輪へ入って行くことを求めている 出来れば住み分けて欲しい 上のクラスの子達が外部と関わって行くことに関しては特別制限したいとは思わない。ももの前に通っていた保育園と合同で大根掘りを実施してくれました 保育園の先生やお友達もとても喜んでくれて良かったです。他の園の子達と交流活動してるのかどうか、わからない。定型発達児と交流する機会が無い。地域の子供達との交流があるか不明です。 | 保護者のニーズや子どもの特性に応じて、他園や地域との交流機会を検討し、実施の有無や活動内容について保護者に明確に共有することで、希望に合った活動を進めていきます。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 70 | 1 | 0 | 0 | その度いってくださるので理解できます。 | 引き続き、利用者への丁寧で分かりやすい説明を徹底し、新たな利用者にも安心してサービスを利用していただける環境を維持します。 |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 67 | 2 | 1 | 1 | その度いってくださるので理解できます。 | 引き続き、支援計画を基にした分かりやすい説明を継続し、保護者が支援内容を十分に理解しやすい環境を維持します。 |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 48 | 13 | 0 | 10 | 今現在病院に受診しながらベアトレに行っております。発達の状態も診ていただいています。もう少し保護者研修会があっても良いとおもう。子どもへの関わり方など教えて欲しいので、研修会を開いて頂きたいです。 | 保護者が学びやすい環境を提供するため、家族支援プログラムや研修会の開催を検討し、子どもへの適切な関わり方を学べる機会を増やしていきます。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 61 | 8 | 2 | 0 | いつも丁寧に対応してくれています。色々支援情報などとして頂いたりするので相談しながら行っています。もう少し情報共有が欲しい。今日どんなことをした、誰と仲がいい、何を話した等。帰りも忙しいかな、とあまり聞いたりできない。日頃からはない、面談の時のみ。連絡帳がとても丁寧で状況が分かりやすく助かっています。先生がたくさんいますが、皆さんとてもよくしてくれています。 | これまでの丁寧な連絡帳の運用を継続しつつ、日々の活動や子どもの状況についてさらに保護者が把握しやすい情報共有の仕組み(例:簡単な口頭報告や連絡ツールの活用)を強化し、保護者との共通理解を深めます。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 64 | 6 | 1 | 0 | 相談や支援をして頂いています。年に数回、指導書を持って説明をしてもらえます。助言がありません。 | 定期的な面談や説明の実施を継続しつつ、保護者のニーズに応じて具体的に実践的な助言を提供する機会を増やし、子育て支援の質を向上させていきます。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 66 | 3 | 2 | 0 | いつも家での様子を聞いて下さり、工夫をしてくれています。色々情報交換したりお伝えしたりして色々変化などしながら交流させて頂いています。先生方には感謝しております。 | 引き続き、保護者とのコミュニケーションを重視し、共感的で柔軟な支援を提供することで、保護者と子どもが安心して利用できる環境を維持します。 |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 39 | 14 | 6 | 12 | 何度が参加させていただいています。お祭りお兄ちゃんが喜んで参加していました！ イベントがあってもそれぞれが自分の子供にかり切りなりがちで保護者同士が話ができるような環境にはなりにくい。夏祭りに参加させてもらいましたが本人もとても楽しそうでした。家族全員で参加するお祭りやイベントがある中で、保護者同士で話す機会はあまりないので、同じクラスのお子さんと親御さんが分からなかったりします。できれば日々一緒に過ごしている同じクラスの保護者同士で子供達が居ない環境で話せる機会があると良いかなとも思います。父母の会や保護者会はありませんが、保護者同士の交流の機会があれば、参加したいと思います。 | 家族で楽しめるイベントを引き続き企画する一方、保護者同士が話しやすい環境を整えた交流機会の場(例:保護者向け座談会や懇話会)の開催を検討し、保護者間でのつながりを深める支援を行います。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|---|---|--|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 63 | 4 | 1 | 3 | 相談した際には対応いただいています。 | 引き続き、相談や申し入れに迅速かつ適切に対応する体制を維持し、相談窓口や手続きについて保護者に分かりやすく周知・説明することで、さらに利用しやすい環境を整えていきます。 |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 66 | 4 | 0 | 1 | お伝えして色々情報を教えたき本当にありがたく思います。連絡ノート以外の活動内容や園の様子がわからない。 | 連絡ノートに加え、写真や活動報告書を活用して園の様子を詳しく伝える取り組みを進めます。 |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 60 | 4 | 0 | 7 | 分かりやすく通信されています。天気情報に関して急なことは伝わらず登園してしまったことはあったのですが配慮して頂き理解出来ました。自分がホームページやSNSを見ないので知りませんが、園だより、クラスごとのお便りで写真乗っけていて、様子が分かるのは凄く嬉しいです。 | 急な天候変化への情報発信体制を強化し、引き続き園だよりやSNSを通じて写真や活動内容を共有し、保護者の安心と満足度向上に努めます。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 69 | 2 | 0 | 0 | されてると思います。 | 引き続き個人情報保護に細心の注意を払い、適切な管理体制を維持していきます。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 65 | 3 | 0 | 3 | されてると思います。 | 今後もこれらのマニュアルの周知徹底を図り、定期的な訓練を継続して実施し、安全管理体制の維持・向上に努めます。 |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 68 | 0 | 0 | 3 | されてると思います。親と一緒に参加した防災訓練も年1回あったら嬉しいです。説明していただいたのかわかりませんが、ももで地震があったときの避難場所忘れていたり、避難経路の確認を保護者も見たいかもです。 | 年1回の親子参加型防災訓練の実施を検討し、避難場所や避難経路の情報を保護者にも分かりやすく共有する機会を設けます。 |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 68 | 1 | 0 | 2 | されてると思います。 | 引き続き安全確保のための計画を適切に周知し、支援が安心して受けられる環境づくりを徹底します。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 65 | 3 | 0 | 3 | されてると思います。たまに言われぬ傷がある。逆に大した事ない傷や怪我の報告がある。子どもを預けてから避けられないようなちょっとした怪我でも細かく状況報告してくれているので安心・信頼できる。 | 今後も細やかな状況報告を継続しつつ、報告基準を再確認して見直しを行い、全ての傷や怪我について適切な連絡が行われるよう徹底します。 |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 68 | 1 | 1 | 1 | 園が大好きです！安心して通園されることが出来ありがたく思います。発語無く意思表示も大きく無いので分からないとしたが行き渋りも無く大人しく行って帰ってくるので問題はないと感じる。いつも楽しそうに通っている。 | 子どもが安心して楽しく通所できる環境を引き続き維持し、一人ひとりの特性に寄り添った支援を継続します。 |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 58 | 7 | 2 | 4 | 毎日、玄関で送迎バスが来るのを待っています。言葉が話せなくても、楽しみにしているのが伝わってきます。ココ最近変化があり楽しく通園してくれるようになりました。上記と同じく分からないとしたが問題は感じない。ホールで遊ぶのと屋上で遊ぶのが楽しみみたいです。行き渋りが時々ある。行く前にグズグズしています。行ってしまえば楽しく過ごしています。毎回通うことを楽しみにしています。 | 子どもがさらに通所を楽しめるよう、活動内容の工夫やサポートを強化し、行き渋りへの個別対応も検討します。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 67 | 4 | 0 | 0 | 母子共々本当に心身共に支えられています。本当に登園したき温かく迎えて頂いて本当に気持ちよく感謝しております。ありがとうございます。手厚く温かいご支援ありがとうございます。先生方にはいつもお世話になっています。楽しく通っています。ただ、あまりお会いした事のない先生が帰りの対応をしてくれた時に、声が大きいというか、指導する、行動を促める言葉が強く感じる方がお一人いました。たった1回だけだったので名前も分かりません。他の先生がその様な対応をしないから、そう感じたのだとは思いますが、私の心に強く残っています。支援内容も先生もみんな良い先生ばかりで、安心して通わせられます。いつも有難うございます！家庭で困ったことなど相談しやすく、親身になって話を聞いてくれるので、気持ちが楽になります。いつもありがとうございます。 | 引き続き丁寧で温かい支援を心掛けたとともに、全職員の対応の質を均一に保つための研修を行い、保護者の安心と信頼をさらに高めていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

公表日 2025年2月28日

| 事業所名 | 児童発達支援センターもも | | | | 公表日 2025年2月28日 | |
|---------|--|---|-----|--|--|--|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 13 | 11 | 10人を超えてくると部屋が狭く感じる。 もう少し集団を小さくするなど工夫することも必要だと感じる。 子どもの人数が多い。 子どもの人数が多く、狭いと感じることがある。 自由遊びの時はテラスや遊戯室等を使って子どもを分散させているクラスがあり、工夫していると思う。 並行通園の日数や曜日を調整している。 1クラスの人数を減らす。利用者の人数が多すぎる時はグループ分けをして 利用者支援員の負担を減らすなどの工夫が必要。 利用児が多くて衝突が増えて危険だと感じた。 人数を減らした方が良い。 基本的には問題ないと思います。曜日によって子どもの利用人数が多い日には一部屋が狭く感じることもあります。 保育者の人数も多くなるので、子どもの動きを把握するのがより難しくなり、どこをどうやって見たいのか混乱してしまうため、日々自分の動きを振り返るようにしています。 年長年中くらいになると、出席人数が多い日には特にスペースが狭く感じる。 | 利用定員を部屋のスペースや安全性に見合った適切な規模に調整し、分散やグループ化といった工夫をさらに推進することで、子どもたちが快適で安全に過ごせる環境を整えていく。 |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 16 | 8 | 利用人数の調整が必要だと感じる日がある。 その日の利用状況に合わせて、職員配置を決めている。 日によっては職員の手が足りていることも多いですが、他害がある子が多かったり、一対一で着かなければならない子がいると足りないと感じる。 その日の人数に合わせて調整している。 たまに目の行き届かない時がある。 日によっては足りていないこともある。配置数が安定してほしい。 棚が上にあたり、鍵がかけられて気が散るようなものもないため、適切だと感じた。 余計な掲示物をクラスから撤去した。 絵カード等を使って視覚的に伝わりやすいところがある。 電気のスイッチやエアコンのリモコンの位置を上げたり、窓の上に鍵をつけたりと環境が整ったと感じます。 難しいとは思いますが、トイレの空間がもう少し広くなったり、便座の種類も増やせたりできたら、さらに使いやすくなるかと思えます。 また、肢体児に対応したトイレもあると良いかと思えます。 | 職員配置数を安定させるための計画的な人員確保や、利用者の状態に応じた柔軟な配置体制を整えることで、より質の高い支援が提供できる環境を整えていく。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 23 | 1 | 清潔ではあると思うが、窓によだれをつける子や舐める子がいるので窓を掃除したい時間がなくてできない。 掃除が出来ていない場所が多く、子どもの手の届く所に触れられないものが置いてある。 なかなか掃除が行き届かない。 毎日ルンバ、ブラバを使って綺麗にしている。 肢体不自由児が床で過ごす方が多いため、マットや絨毯など保温と保護ができるものを増やした方がよいと思う。 定期的に片付けをし、子どもたちの動きや様子に合わせて臨機応変に変えることができていると思います。 | 現在の環境整備を維持・発展させつつ、トイレ設備の改善や肢体児にも対応できる設備の導入を検討することで、より多様なニーズに対応できる環境を整えていく。 |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 20 | 4 | 個別でのクールダウンなどをする空間の確保は難しい。各クラスでの努力次第となっている。 つき組やホールなどクールダウンしたい時に自由に行くことができていると思う。 ブレイルーム、感覚遊びスペース、芝生など、利用者の希望に合わせて身体を動かすことができ今年度は良い環境で支援ができ、利用者の満足度も高かったように感じた。 痛みが起きた際に落ち着く部屋が欲しい。クラスの中に1人になれるスペースがあると良い。 | 掃除や環境整備の負担を軽減する仕組みを導入するとともに、子どもの活動やニーズに応じた柔軟で快適な空間づくりを目指した備品の充実を図っていく。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 20 | 4 | 個別でのクールダウンなどをする空間の確保は難しい。各クラスでの努力次第となっている。 つき組やホールなどクールダウンしたい時に自由に行くことができていると思う。 ブレイルーム、感覚遊びスペース、芝生など、利用者の希望に合わせて身体を動かすことができ今年度は良い環境で支援ができ、利用者の満足度も高かったように感じた。 痛みが起きた際に落ち着く部屋が欲しい。クラスの中に1人になれるスペースがあると良い。 | 個別の部屋やスペースを確保するための環境整備や、各クラスでの工夫をサポートする仕組みを導入し、こども一人ひとりのニーズに対応できる柔軟な支援体制を整えていく。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 17 | 7 | 行事についてはよくできていると思うが、自分自身の保育時間が取れていないと感じる。 振り返りシート。クラス担任間でもう少し話す時間があればよかったように感じた。 今できる範囲では、複数の職員と協力しながらできていると思います。さらに多くの職員と一緒にできたら、より良くなると思います 何を指すのかについて一人一人の共通理解がされていないと思う。 ゆえに振り返る視点もバラバラだと感じる。広く職員がPDCAサイクルという言葉を知っているか、意識しているか。わかっていなければ評価できない。 クラス職員みんなで目標設定から振り返りまでできた方がいいのでは？ | PDCAサイクルの基本概念を職員全体で共有するとともに、目標設定や振り返りをクラスや組織全体で行える環境を整え、職員間の協力体制を強化していく。 |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 19 | 5 | 評価表についてあまり把握していないが、日頃から保護者の方の意見を取り入れていることは多いと感じる。 保護者向けの評価表を見たことがない。集計結果があれば全員で確認する機会がほしい。 | 評価表の実施や結果の共有を徹底し、保護者の意向を反映した具体的な業務改善案を職員全体で検討・実施していく。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 22 | 2 | どの職員でも意見を言いやすい、職場環境になっていると思われる。 職員会議などで共有できていると思う。クラス会議などは送迎等で時間を取ることが難しいと感じる。 職員会議。正規職員間では話す時間が多少あった。 | 意見を出し合う機会をさらに充実させるための時間確保や、非正規職員を含む幅広い意見を収集しやすい仕組みづくりを行っていく。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 15 | 9 | 自分ではよくわかりませんでした。 評価結果を周知する必要がある。 外部評価について、あまり聞いたことがなくわかりません。 外部評価を行う第三者とは誰なのでしょう。いつ外部評価がなされているのでしょうか。 第三者の外部評価はされていない。 | 外部評価の実施および評価プロセスや結果を職員に周知する仕組みを整え、評価結果を活用した具体的な業務改善策を策定・実行していく。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 23 | 1 | 半日の時に何度か研修を受けたり、お話を聞くことができたりしているからとても勉強になる。 半日休みを作って研修時間を確保した。 研修はしたが時間が経つと忘れてしまい繰り返しの研修が必要だと感じた。 研修の時間が毎月確保され、研修係を中心に様々な研修に参加することができました。 昨年度より研修の機会が増えて、職員間で共有することができて良いと思います。 | 研修内容の定着を図るための定期的な復習やフォローアップ体制の強化と、研修を活用した知識やスキルの共有をしていく。 |
| 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 19 | 5 | 支援プログラムを見たことがない。 はいにつけましたが、よくわからないので、評価できません。 全職員に伝達されていない。 | 支援プログラムを定期的に見直し、職員間で共有する時間を確保していく。 | |
| 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 22 | 2 | 書き方が保育者のよって違うため、自分の書き方に自信が持てない。 客観的に分析したかと言われると微妙なので、次回からのAIの分析が楽しみです。 担任や児童発達支援管理責任者などと、日常的に子どもや保護者の様子を把握し考えを共有できていると思います。 | アセスメントの記録方法を統一し、職員全員が適切に記録・分析できるように、記録フォーマットの統一や記入例の提示、定期的な研修の実施していく。 | |
| 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 20 | 4 | クラス会議の時間を持たないで職員の共通理解はなかなか難しい。 計画を立てる前に個々の課題についてクラスで話し合う時間がしっかりととれておらず、担当が計画を立ててから、それをさらっと確認し合うようになってしまっていたので、計画を立てる前の話し合いをしっかり行っていきたいと思います。 いいえにつけましたがよくわからないので評価できません。 | 計画作成前に話し合う時間を確保する工夫や、職員全員が意見を出し合える仕組みを整えていく。 | |

| | | | | | | |
|--------------|---|--|----|--------|--|--|
| 適切な支援の提供 | 14 | 児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 19 | 5 | クラス会議で共有。 支援計画は、パートさんは内容を知らないのでは？パートさん個人ファイルを自由に読む時間があると良い。たまに共有されていないことがあるので共有して欲しい。 担任の間では共有されるように努力していると思います。 共有され、がよくわからないので評価できません。 クラス担任以外には共有できていないこともある。 | 支援計画を全職員に効率的かつ確実に共有する仕組みを整えていく。 |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 16 | 8 | 毎日の支援の記録は生活ノートのみになってしまっている。 工夫している点はない。 | 標準化されたアセスメントツールの活用や、日々の行動観察を体系的に記録する仕組みを整えていく。こどもの状況をより正確に把握し、適切な支援計画の作成や見直しにつなげていく。 |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 21 | 3 | ガイドラインを見ていないので良くわからない。 | 定期的な研修会の実施や、支援計画作成時のガイドライン確認を行っていく。具体的な支援内容の設定方法や記載例を含めた実践的な研修を行っていく。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 23 | 1 | クラス会議にて実施している。 クラスで活動について話す時間が取りづらい。 | 定期的なクラス会議の時間確保し、会議の効率化や時間配分の見直しを行っていく。 |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 23 | 1 | 意識しているが、活動が重なってしまうこともある。 園外に行く時、公園が固定化されないように色々な公園に行くように心がけた。 曜日によってはできることが限られていると感じ、同じような活動になってしまっていることがあるので、工夫をしていきたいと思っています。 | 利用者の興味・関心や季節性を活かした新しい活動プログラムの開発と、既存の活動内容の見直しを定期的に行っていく。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 20 | 4 | 意識しているが、人数が多く全員に適切な保育が行えているかはわからない。 個別はおいおいやればよいと思う。 | 児童発達支援計画に基づき、個別活動と集団活動のバランスを適切に調整する仕組みを検討していく。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 17 | 7 | 送迎に出ている職員が多いクラスはなかなか時間が取れずに話しができない日がある。 打ち合わせは多いのだが、毎日必ず時間は取れない。 必ずではないが前日に明日の活動について少し話すことがある。 必ずできているかという点では毎回時間がとれず難しい時が多い。 口頭での簡単な打ち合わせはするように努力しています。 送迎等の影響で、クラスで打合せする時間が取れない。 | 効率的に打合せを行う仕組みを検討していく。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 7 | 16 | 終業の時間が異なるためなかなか難しいので今年度のようにみんなで集まれる時間を作りたい。 送迎があるからできない。 クラスミーティングの時間がもう少し欲しい。 送迎業務により、その日に職員が揃って振り返りの時間を持つことは難しい。 しかし、後日振り返り、次の活動に生かしている。送迎等の影響で、クラスで打合せする時間が取れない。 送迎にかかる職員が現地まで終わってしまう為当日の話し合いは無理がある。 | 振り返りや情報共有を効率的に行う仕組みを検討していく。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 19 | 5 | 生活ノートのみでの記録になっている。 支援記録を書いたことがない。毎日、5領域ごとに記録するべきだと思う。 | 支援内容の記録方法を見直し、5領域ごとの詳細な記録を取り入れる仕組みを構築するとともに、職員への記録方法の指導を徹底し、記録を基に支援の検証・改善を進めていく。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 24 | 0 | 定期的な面談をおこない保護者との共有時間もある。 | 今後、さらに保護者との共有内容を計画に反映させる仕組みを強化していく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。 | 22 | 2 | わからない。 | 会議への参加者や役割分担を職員間で共有し、子どもの状況を適切に伝える体制を整備し、関係機関との円滑な連携を促進していく。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 21 | 3 | わからない。 | 関係機関との具体的な連携体制や取り組み内容を職員に明確にしている。 |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 22 | 2 | 学校、子ども園とは連絡できているように思う。 並行先との情報共有について、十分にできていないと感じるので改善していきたいです。 | 並行利用先との連携を強化し、支援内容や子どもの状況を共有するための仕組みを整備するとともに、関係機関との相互理解を深める取り組みを進めていく。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 22 | 2 | わからない。 | 就学移行時の連携体制を明確化し、その取り組みを職員全体に周知することで、円滑な情報共有と子どもの適応を支えるための相互理解を促進していく。 |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 15 | 9 | わからない。 | 地域内での連携状況や取り組み内容を職員全体に周知し、情報共有の仕組みを整えるとともに、地域全体の質の向上に向けた具体的な連携活動を計画・実施していく。 |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 20 | 4 | 研修は行っている。 専門家の講演、研修などを受ける機会を増やして欲しい。 | 既存の研修を継続するとともに、専門家を招いた講演会や高度な専門知識を提供する研修の機会を増やし、職員のスキル向上を図る体制を整えていく。 |
| 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 11 | 13 | わからない。 | これらの会議への参加状況を職員全体に周知し、積極的な参加を促進するための情報共有していく。 | |
| 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|--|--|----|---|---|--|
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 8 | 16 | 公園で会った時に挨拶する程度だと感じる。 なかなか難しい。 計画はされているが実現はしていない。 感染もある為他のこどもとの交流は出ていない。 | 安全面に配慮しながら、小規模で実施可能な交流活動やオンラインでの交流機会を検討し、他の子どもと接する経験を少しずつ増やせるような工夫していく。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達や課題について共通理解を持っているか。 | 23 | 1 | 現状通りで良いと思う。 会うことが少ない保護者の方は、ノートでは書きづらいことになると共通理解ができるほど、子どもの様子を日々伝えるというはできていないように感じます。 | 会う機会が少ない保護者とも共通理解を深めるために、電話やオンラインツールを活用したコミュニケーション手段を拡充し、子どもの状況をより確実に共有できる仕組みを整えていく。 |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 15 | 9 | 保護者向けの講演会を開催してほしい。 トークルームで保護者の方が専門家に相談できる機会がありました。 | 、現在の相談機会を維持しながら、保護者向けの講演会や研修の開催を積極的に検討し、家族の対応力向上に向けた支援をさらに充実させていく。 |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 21 | 3 | 支援や運営規程などわからないことが多い。 支援プログラムまではまだ伝わっていない。 | 運営規程や支援プログラムについて、保護者が理解しやすい形で丁寧に説明する機会を設け、情報共有の方法を改善していく。 |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 21 | 3 | 面接の機会が設けられていると思う。 支援計画を立てる時間を十分に持てること良い。(なかなか難しいが…) | 計画作成に必要な時間を確保するための体制やスケジュールの見直しを行い、より丁寧に子どもや保護者の意向を反映した支援計画の作成を進めていく。 |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 22 | 2 | 見せるだけで一緒に改善はできていないと感じる。 内容説明は必須。改善の余地はたぶんにある。が、時間をどうやって作るか…が今のもの課題。 | 計画の内容を保護者と共有しながら改善に取り組み時間を確保する仕組みを整備し、保護者とのように連携を深めるか検討していく。 |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 22 | 2 | 送迎時、少し話をする程度で定期的に相談に乗ることはできていない。 見学に定期的に来てもらい、保護者と話をする機会を作ること可能だと思う。 | 定期的な相談機会を設ける仕組みを構築し、見学や面談などを活用して、保護者が気軽に相談できる体制を整えていく。 |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 14 | 9 | 行事の時は行えている。 就学のお話や親子遠足、夏祭りなどで保護者同士が交流を持っていると感じる。 | 行事以外でも保護者やきょうだい同士が交流できる機会を設ける取り組みを検討し、さらなる支援体制の充実を図っていく。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 23 | 1 | 連絡帳を通して不安感を訴えてきた保護者とは電話連絡でお話をしている。 | 現在の対応を継続しつつ、相談対応の体制をさらに整備し、保護者が安心して相談できる窓口の周知や、迅速かつ適切な対応を全職員で共有していく。 |
| | 41 | 定期的に通信等発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 20 | 4 | ももだよりがあるので良いと思う。 | ももだよりの内容を充実させるとともに、HPやSNSの活用も検討し、より多様な方法で子どもや保護者に情報を届ける仕組みを強化していく。 |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 23 | 1 | シュレッダーを使用し、個人名が書いてあるものは適切に処理している。 | 現在の取り組みを継続するとともに、個人情報保護の意識を高めるための定期的な確認や研修を実施し、徹底した管理体制を維持していく。 |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 22 | 2 | 絵カードを使って対応している。 | 絵カードの種類や内容をさらに充実させるとともに、職員全体での活用方法の共有を進め、より効果的なコミュニケーション手法を確立していく。 |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 21 | 3 | 登呂まつりがよかったですとおもう。 トロベウィークがありももを地域に開放できてよかったです。 | これらの取り組みを継続しつつ、地域住民との交流をさらに深めるため、新たな行事や活動の企画を検討していく。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 22 | 2 | 嘔吐処理の研修が参考になった。 今年度は様々なケースを考えた訓練にチャレンジしてくださったと思います。 | 引き続き実践的で多様な場面を想定した訓練を計画し、職員全員がマニュアルを十分に理解し、適切に対応できる体制を強化していく。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 23 | 1 | 避難訓練や非、常食の備蓄もあり現状通りで良いと思う。 | 現在の取り組みを維持しつつ、計画や訓練内容を定期的に見直し、新たなリスクに対応できる体制を確保していく。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 24 | 0 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況について、朝礼時に情報を共有している。 保育者はあまり把握していないが、施設としては行っていると思う。 | 朝礼での情報共有をより効果的に行うために、共有内容を明確化するとともに、保育者を含めた全職員が情報を確実に把握できる仕組みや記録の方法を工夫していく。 |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 23 | 1 | 配膳の際に利用している、ネームプレートにアレルギーの食材を記載していて、誰が見ても分かるようになっている。 アレルギー食の利用者の分を厨房から手渡されるようになり、注意喚起に役立った。 いいえにつけましたが、医師の指示書をもらっているかわかりません。 | 現在の取り組みを維持しつつ、医師の指示書の受け取り状況を確認し、その管理体制を明確化・徹底していく。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 21 | 3 | 安全計画を見たことがない。 | 安全計画の内容を職員全員が把握できるよう、計画の共有方法や説明の機会を設けていく。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 18 | 6 | こどもの安全確保に関して、工夫している点はない。 | 安全対策に対する意識を高めるため、具体的な取り組みや工夫を職員全体で検討し、実施していく。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。 | 23 | 1 | ヒヤリハットがあったら報告し、すぐにヒヤリハットに記入している点が良い。 ヒヤリハットは書いてはいるが、検討されているかどうかわかりません。 | ヒヤリハットの記録後にその内容を共有・検討し、改善策を全職員に周知する仕組みを強化していく。 |
| 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 23 | 1 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、火曜日に行っているが全職員に対してやった方が良い。 | 研修の実施方法を見直し、全職員が参加できる体制やスケジュールを整えることで、防止意識の向上を図っていく。 | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 20 | 4 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、朝の会などに椅子に無理に座らせるのも身体拘束だと思うので、子どもや保護者に十分説明することはなかなか難しいと思う。 | 身体拘束に関する理解を職員全体で深めるとともに、保護者への説明の仕方や同意を得るための適切なコミュニケーション方法を検討・確立していく。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|------------------------|----|--------|-------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援） | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ | 2024年12月31日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14 | (回答者数) | 11 |
| ○従業者評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ | 2024年12月31日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) | 3 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 2024年12月1日 | | ～ | 2024年12月31日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 10 | (回答者数) | 10 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年1月31日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--------------------------------------|----------------------------|
| 1 | 支援員が保護者の相談に共感的に耳を傾け、丁寧に回答している点 | 月1回の担当内での支援振り返りの機会を設定し、支援の質の向上に努めている | 保護者向けの家族支援プログラムや研修会の定期的な開催 |
| 2 | 訪問後の報告を電話やその場でのフィードバックなど、柔軟な方法で実施している点 | 訪問先の保育計画を尊重しながら支援を実施している | 支援員の専門性向上のための体系的な研修機会の確保 |
| 3 | 子どもの状態に合わせた具体的な支援方法を提案できている点 | 支援記録を詳細に作成し、関係者間で共有している | 訪問支援に使用する教具教材の充実と活用方法の共有 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 | 支援開始前の職員間での打ち合わせ時間が十分に確保できていない | 並行通園利用者の増加に対して支援員の人数が不足している | 支援員の増員と計画的な採用・育成の実施 |
| 2 | 保護者向け評価表による意向把握の仕組みが未整備 | 訪問先との十分な情報共有時間の確保が難しい | 個人情報に配慮しながら、メール等での連絡体制の整備 |
| 3 | 第三者による外部評価が未実施である | 組織的な評価・改善の仕組みが確立されていない | 保護者評価や第三者評価を含む包括的な評価システムの構築 |

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援）

公表日 2025年2月28日

利用児童数 14

回収数 11

| | チェック項目 | 回答 | | | | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---------------------|---|----|---------------|-----|---------------|---|------------------------------------|
| | | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | | |
| 環境・体制整備 | 1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。 | 4 | 0 | 0 | 7 | 伺う機会がなかったのでお恥ずかしながら知らない状況です。 | 報告の際、使用した教員や教材を伝え、共有に努める。 |
| | 2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。 | 9 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。 | 10 | 1 | 0 | 0 | 初めに保育所等訪問の話聞いた時は、どのような支援が理解出来なかった。担当者が変わってもう一度説明をしてもらい、理解を深める事ができた。 | 丁寧に説明を行い、不明点については十分に確認を徹底する。 |
| | 4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | 都度相談してもらえています。 | 現状を維持しつつ、今後も保護者の方と相談の上、訪問日を調整していく。 |
| 適切な支援の提供 | 5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | | |
| | 6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | 両園での子供の様子の共有を目的にしているため、それぞれの良いところをそれぞれに持ち帰ってもらえていると思います。いつも観察されたことを丁寧に電話で説明していただき、状況が浮かびやすく感謝しています。 | 現状を維持しつつ、今後も丁寧な支援に努める。 |
| | 7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | | |
| | 10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | | |
| 保護者への説明等 | 11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。 | 9 | 1 | 0 | 1 | | |
| | 12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 7 | 1 | 0 | 3 | この前も放課後デイサービスについての講座に参加させて頂きました。今後も色々な講座に参加できたらと思っています。また情報提供よろしくお願致します。 | 保護者向けの講座や研修会を検討し、多様なテーマで情報提供を行う。 |
| | 15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 10 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | 親の話をとってもらえます。 | 現状を維持しつつ、今後も丁寧な支援を継続に努める。 |
| | 18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | |
| | 19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | 0 | 1 | 0 | | |
| | 20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | | |
| 非常時等の対応 | 21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 7 | 0 | 0 | 4 | 今日、来てくれましたよ〜と公立園の先生からお話しは聞きますが、具体的にどうであったよ、などは少ない時間で共有がないのでわかりかねます。 | 訪問先の先生方と積極的にコミュニケーションを回り、情報共有に努める。 |
| | 22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | 書類でもらえて助かります。いつも詳しく話していただき感謝しています。子どもからの情報だけでは全然伝わらないので助かっています。 | 現状を維持しつつ、今後も丁寧な報告、共有に努める。 |
| | 23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 7 | 0 | 0 | 4 | | |
| | 24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 10 | 0 | 0 | 1 | | |
| 満足度 | 25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 6 | 0 | 0 | 5 | | |
| | 26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 9 | 0 | 0 | 2 | | |
| | 27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | 遊んでもらっていた、と聞きました！ | 現状を維持しつつ、今後も丁寧な支援に努める。 |
| 28 事業所の支援に満足していますか。 | 11 | 0 | 0 | 0 | これからも利用したいです。 | 保護者の意見を収集し、改善が必要な点については対応策を検討し、支援の向上に繋げる。 | |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | | 公表日 2025年2月28日 | | | |
|--|----|----------------|-----|--|--|
| 児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援） | | 対象数 10 | | 回収数 10 | |
| チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
| 1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 7 | 2 | 1 | <p>報告書を見せて頂くとうわかりやすくて確かと 思います。いつもわかりやすく丁寧な言葉でお話し くださるので、理解しやすいです。</p> <p>ももさんでの実際に行っている支援方法を交えながらアドバイスをいただき、園でも同じ支援を取り入れました。助言をもらったり手立てを聞くことで試していくことができた。細かな具体策を教えてくださいました。</p> <p>的確に教えてください、とてもわかりやすいです。個別対応について、わかりやすく記入していただいています。</p> <p>こちらの質問にもいつも丁寧に答えてくださり、とても助かっています。もし可能であれば「こういう時はこうしたいほうがいい」などのアドバイスをその都度いただけると嬉しいです。</p> <p>助言をいただくことが特になかった。</p> <p>特に助言や具体的な説明はありませんでした。遠慮なく気付いたことを伝えていただけると良いと思います。</p> | <p>訪問時に気づいた点をその場で伝える工夫を検討する。</p> <p>提案や助言の具体性を高めるために、事例を交えた説明方法を検討する。</p> <p>遠慮なく助言を行えるよう、信頼関係の構築に一層努める。</p> |
| 2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 7 | 2 | 1 | <p>関わりの中で、本児に対するわかりやすい言葉掛け、優しいトーンを見習いたいと思います。</p> <p>その子にとって最善の方法をいつも考えてくださり支援してくれているのでとても勉強になります。</p> <p>具体的にももさんの様子を教えてください、見学中は本児から見えないよう工夫して下さっているのが本来の姿をお見せすることができ良かったと思います。</p> <p>子どもに対する支援について困っているときすぐに声を掛けて関わってくださりとても助かりました。</p> <p>絵カードの使い方や言葉かけなども勉強になります。</p> <p>集団の中での児の現れを受け止め個別対応をしていただき助かっています。</p> <p>支援員の知識や技術を感じる場面は残念ながらありませんでした。</p> | <p>現状を維持しつつ、今後も丁寧な支援に努める。</p> <p>支援員の知識や技術を向上させるための研修やサポートを強化し、現場で役立つ支援を提供できるよう努める。</p> |
| 3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 8 | 2 | 0 | <p>どんな質問でもいつも笑顔で丁寧に答えてくれるので、聞きやすいです。</p> <p>しっかり丁寧に答えていただいています。</p> <p>「どうすべきかわからない」といったような漠然とした悩みにも丁寧に答えてくださり、「こうしてみよう」と前向きな気持ちになれました。</p> <p>困ったこと、出来るようになったことを共有することができて良かった。自分の気付かない視点からアドバイスをもらえた。</p> <p>日程調整や要望に対してはすぐに対応していただき助かっています。</p> <p>実際に一緒に見守ってくださりピンポイントで指導してもらえます。</p> <p>保育中はゆっくりお話しする時間があまりとれないためどちらともいえません。</p> | <p>質問に対する迅速な回答を維持する。</p> |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 5 | 5 | 0 | <p>園と協力してサポートして下さるので、本人の成長が着しく、我々もおどろいています。</p> <p>その日のコンディションにもよるため難しいところではありますが、ももさんでしか体験できないことを体験できているというのは良かったと思いました。</p> <p>園での子どもの姿を直接見ていただけたことで課題を共有できとも良かったです。</p> <p>いろんな支援のパターンがあり役立つアドバイスをもらえた。日々対応に悩みすぐに解消軽減とはいかない。</p> <p>事業所と園での様子を共有できたことで多角的に支援計画や保護者との関わりができました。</p> <p>相談にのってもらって、とても心強いです。</p> <p>まだ回数が少ない為明確な変化がみられないため。</p> | <p>成果を検証し、改善点を来年度に活かす。</p> <p>先生方の課題や困りごとの把握に努め、課題解消のためのよりよい提案を検討する。</p> |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 8 | 2 | 0 | <p>他の人の目で見てもらうことで自分で気づかないことに気づくことができる。</p> <p>いつも本当に助かっています。</p> <p>その日の様子や支援員さんから見た本児の姿を細かく報告書にまとめて下さるので大変ありがたいです。いつもありがとうございます。</p> <p>子どもの様子をお互いわかっているので相談しやすかった。ありがとうございます。満足しています。</p> <p>療育施設と連携が取れる訪問支援の利用ができることは児の成長につながる。園での様子により療育の課題を話し合えることがありがたいです。</p> <p>情報交換、共有ができることにはとても満足していますが、支援としてはどちらともいえません。</p> <p>担当がももさんに訪問し、ももさんでの子どもの姿、実際の支援方法について直接見る機会があったら嬉しいなと思いました。</p> | <p>現状を維持しつつ、今後も丁寧な支援に努める。</p> <p>支援員の知識や技術を向上させるための研修やサポートを強化し、現場で役立つ支援を提供できるよう努める。</p> |
| <p style="text-align: center;">その他のご意見</p> | | | | | <p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p> | |
| <p>支援員の方は丁寧に対応して下さり安心してます。</p> <p>いつもありがとうございます。12月より1名増え、在園児の訪問が2名となりました。こども園の担当保育教諭にとっては共に当該児の支援について考えるよきパートナーのような存在に感じております。フィードバックも柔軟に対応頂き、当日午後に電話を頂いたり、その場で訪問支援後にして頂いたり、こちらの要望に沿って下さる事を有難く思っています。可能ならば、場（周りの環境）により、園とは異なる姿を見せるお子さんもういっしょるので事業所の見学も一度ご無理のない範囲でお願いできると有難く思います。又、当園は他に2事業所さんの訪問支援をお受けしています。出来る限り重ならないよう日程調整をしておりますが、重なってしまった場合はご容赦ください。今後ともよろしく申し上げます。</p> <p>報告書はいただいているのですが、その報告は後からの報告となるのでできるだけ その時その場面での具体的な助言をもっといただけると助かります。</p> <p>訪問支援の先生方は、いつも笑顔で明るく、丁寧に支援して下さるので助かっています。又、本人の支援はもちろんの事、担任に対していつも前向きな言葉をかけて下さるため、信頼して相談することができます。子どもも、今までできなかったことができるようになったり、集団活動に安心して参加できるようになったりと、成長した姿をたくさん見ることができました。今後とも、またよろしく願いいたします。</p> <p>対応に悩むことが多く、話を聞いてもらったり支援の手立てを相談できたことがよかったです。子どもの状況を知っている方とつながっていることが励みになり支えとなった。第三者の方の意見やアドバイスを頂くのはとても貴重な機会でありがたかった。教材を用意して下さりありがたい気持ちもあつたが少々困惑してしまつた。（教材の作り方や写真の活用の方法を教えてください）</p> <p>事業所の本児の担当者が来援し実際に様子を見たり関わったり担任との情報交換・共有する日があつても良いと思つた。それによってお互いの事業所が協力し合つて本児に関わることができ今まで以上に本児のせいちょうが期待できるのではないのでしょうか。</p> <p>日程調整等、個人情報の少ない項目に関しては、連絡をメールでも出来るようになると手段が増えありがたいです。（保育中に話す必要が無くなる。担任の手が空いた時に連絡ができる）</p> <p>訪問支援の際は、可能な限りその場でフィードバックを行い、子どもの反応を踏まえた具体的な助言や提案を行うよう心掛ける。</p> <p>訪問園の承諾を得た上で、教材の提案や活用方法を具体的に伝える。</p> <p>担当者間の情報共有の強化：担任と支援担当者が直接情報交換できる日を設けることは、お互いの理解を深め、支援の質を向上させるために重要です。例えば、定期的に担当者間での会議や打ち合わせを設定し、具体的な支援方法や子どもの状況について共有する場を作ることが有効です。</p> <p>電話連絡の時間帯についての検討や、連絡手段の柔軟性を高めるために、個人情報の取り扱いに配慮しつつ、メールの活用を検討する。</p> | | | | | | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 2025年2月28日 | | | | |
|--|--|----------------|-----|--|---|--|
| 児童発達支援センターもも（保育所等訪問支援） | | | | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・ 体制・ 整備・ 運営 | 1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 4 | 0 | 訪問員に聞き取りを実施し、追加の必要物品を揃えたい。 | 訪問員の意見を聞き取り、必要な教材・教具を整備の検討を行う。 | |
| | 2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 3 | 0 | 並行通園の利用が多いので増員を考えている。 | 並行通園の利用増加に対応するため、訪問員の増員を計画的に進める。 | |
| 業務 改善 | 3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 0 | 時間の確保に努めたい。 月1回担当内で支援の振り返りの機会を設けている。 担当職員との話し合いやクラスに入って共に活動している。 | 多様な職員の意見を反映できるよう訪問員だけでなく、主任やクラス担任を含めた振り返りの機会を検討する。 | |
| | 4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | 保護者の意向を直接話したり、便りのやりとりをしたりして把握しているが、保護者への評価表を作成していない。 | 保護者向けの評価を実施するため、評価の内容を精査し、業務、支援の改善に繋げていく。 | |
| | 5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | 担当内では意見を出し合い、改善に繋げている。 | これまで通り、従業者が意見を出し合う機会を定期的な設けていく。 | |
| | 6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 2 | 2 | 第三者は誰なのか担当職員はわかりません。 管理者から誰なのか、どのように評価が行われるのか伝えてほしいです。 外部評価はまだしていない。 | 第三者評価の実施体制について管理者から職員への説明を行い、計画的な実施に繋げる。 | |
| | 7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | 1 | 半日の営業日を作り研修の時間にあてている。 担当内で支援について事例検討する中で、研修をしています。 また外部研修は自分で探して個人負担で受講し、支援力の向上に努めています。 | 外部研修の受講機会や個人負担を軽減する体制を検討する。 | |
| | 8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 3 | 1 | 児童発達支援管理責任者との検討を今後していかなければいけないと思います。 | 児童発達支援管理責任者との定期的な検討の機会を設定する。 | |
| 適切 な支 援の 提 供 | 10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 4 | 0 | | | |
| | 11 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 1 | 当センターの担任との共有が不十分だと思います。 話し合う時間を生み出すことが難しいです。 訪問先担当や園長先生とは訪問時間短い時間でも共有に努めています。 | クラスの会議に参加する機会を増やし、当センターの担任との情報共有の時間を確保できるよう努める。 | |
| | 12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | 1 | 当センターの担当者との共有に努めなければならないと思います。 | クラスの会議に参加する機会を増やし、当センターの担任との情報共有の時間を確保できるよう努める。 | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 3 | 1 | 支援開始前の打ち合わせは難しいが、その都度支援方法の検討は行なっている。 | 支援前の支援内容や役割分担の確認を継続し、さらなるチームの連携強化に努める。 | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 2 | 2 | その都度必ず振り返りの時間を設けることは難しいが、報告書を通し、振り返り、支援の検証になっている。 それぞれが受け持つ訪問支援の全てを一つ一つ必ず全訪問員で振り返ることはできていません。 | 報告書を活用した振り返りや支援の効果検証を継続し、全ての支援員が参加する機会を設け、その実施方法についても併せて検討す | |
| | 17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 4 | 0 | 訪問先の先生方も忙しく、その日の保育計画やねらいを全て理解することには難しさがある。 | 訪問先の先生方とコミュニケーションを図り、保育計画やねらいを把握するための情報収集に努める。 | |
| | 18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | 0 | | | |
| 関係 機関 や保 護者 との 連 携 | 20 障害児相談支援事業所のサービスマネージャーや関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 3 | 1 | 保育所等訪問支援事業担当者に参加すべき会議があるのかどうか、わかりません。 | 保育所等訪問支援事業担当者に参加すべき会議について、明確な基準を設定する。 | |
| | 21 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 22 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 0 | | | |
| | 23 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 3 | 1 | | | |
| | 24 (自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。 | 3 | 1 | | | |
| 25 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | 0 | | | | |

| | | | | | | |
|------------|---------------------------------------|--|---|---|--|--|
| 保護者等への説明等 | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 1 | | |
| | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | 0 | | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 4 | 0 | | |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | 0 | | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 4 | 0 | | |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | 0 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 1 | | |
| | 33 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 2 | 2 | | |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 0 | | |
| 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | 0 | | | |
| 訪問先施設への説明等 | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 4 | 0 | | |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 3 | 1 | 先生方も忙しく、十分とは言えない。 訪問先園の負担感が増す形でのカンファレンスはよりよい連携につながらないと考え、立ち話ミーティングや報告書の充実に努めています。 訪問先園の考えを汲みながらいい形を探りたいです。 | 訪問先の負担に配慮しながら、効果的なカンファレンス実施方法を検討する。 |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 4 | 0 | | |
| | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | 0 | | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 4 | 0 | 相談への助言を行なっているが、訪問先によって満足度のばらつきがある。 | 訪問先ごとの満足度のばらつきを解消するため、職員間で助言・支援方法の検討を継続する。 |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 1 | | |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 3 | 1 | | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 3 | 1 | | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | 0 | | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 3 | 1 | | |